

●地方制度實施の期
 曩には地方官諮

上京中なりし竹下岐阜

埼玉縣會議員 片戀親會 同縣會議員

前號より取敢て報道

●室田勸業社
西群馬郡中室田村の有

同會ふ於て多數地方官の意見に依り各
任^{にん}の上直に町村自治の基礎^{きそ}と立て又諸
準備^{じゅんび}を整へ然る後實行^{じつぎやう}の布令^{ふれい}と下さ

●繭絲業組合中央部幹事の上申 海外
直輸出生絲荷爲模金澁滞（おそまつ）の儀につきて繭絲

同には去廿六日正午頃より同縣下大宮
まんなち
 園地内西洋亭に於て懇親會を開き同縣
けん
 常置委員選舉投票の件に付き左の件々

せし瀛車頓覆の次第を聞くに去る廿六日
午後四時新橋發急行列車が新橋より十六
哩四分の三即ち横濱櫻木町一丁目まで進

志者には今度勸農社なるものを組織し毎月十銭宛の積金となし金額百圓に滿る時は物品賣捌所と設け其利益を以て農事の

いといなりやに聞けるが今又聞く處に據れば該制度ハ其後内閣に差出され昨今審議ある様子なれども來月中には大抵公布の運びに達すべく然る時は其公布の後一ヶ月の後即ち明治廿二年五月頃より斷然實行する由同法附則と共に公布せる可しども云へど如何にや

の阿氏より農商務大臣へ去る二十三日に
意見を上申したり今其の大意を聞くに本
邦蠶絲海外直輸の業は去る明治九年に始
り爾來大藏省勸商局の保護及び東京第三
十三國立銀行等に於て取扱ひたるに直輸
の必用なると輸出生絲の年に月に旺盛な

議決したりと云ふ
第一、正副議長辭職ノ事但明廿七日中
に實施する事
第二、常置委員及豫備員辭職ノ事
第三、若し承諾せざるに於ては知事に
臨時會と請求する事
第四、知事に於て臨時會を許可せざる

行せし時ハ四時四十分比なり。お同所に
お線路に少しの破損を生ぜしたり「此内
に入るべからず」との合圖となせしも固
より不意の出来事なれば機關士も夫と必
ず思ひに乘じて進行せしかば忽ち顛
倒せし機踏車は左りに屈し客車一臺は右
に傾倒せしより後の列外三臺は左りに
顛倒せしより後の列外三臺は左りに顛倒

改長及び社員が不慮の災變に罹りたる時
の費途に充んと昨今夫等の計畫中なりと
聞けり
●藤岡婦人教育會　前號に記載したる
同會よては来る四月十五日の第三回日曜
と期し其の第二回を開設し古今の事跡に
就きて婦徳の要旨と講義又は演説し且つ

●公費處分規則　其筋にて、現行同規則の行文宜しきを得ざる爲め屢々當初擬定の精神に背き、窮民をして不正の意慢に陥れ、不測の慘境に彷徨せしむるあるを、種々計畫の上遂に善良なる改正草案を編成し、先頃衆議中なりと聞しか是亦同議を通過せるを以て、近々元老院の議定

るに及び十三年特に横濱に正金銀行と設立せられ事は海外爲換の便を開き爾來本
年まで九ヶ年間該行の取扱を経て海外へ
直輸せし巨額に實に驚くべし其間米佛
英等に於て該品賣捌に従事せし商店多し
と雖も今日に至りては特に同仲會社のな
るのみ該社は専ら是れのみ從事し米佛の

に於ては其筋々臨時會を請願する事

第五、前三項四項を實行する場合に於ける協議會を開く事

にして同日會せし者二十五名に及び其親鄰告委員は岡戸勝三郎、田中一郎、鴈寛次、大河原榮五郎特出直の五氏擡

車は三四間も後戻りせしむに、乗客も車内にて俄かに轉け合ひしかば、何事の起りしにやと一同驚と潰して見れば、前なる列車が顛覆し居たる也。ええ、こゝ椿事と自由も勝手に入出するを得る上中等顧客、きよんも先を爭つて飛び下り顛覆せし乗客を救ふとぞなせし。も容易に戸を開くとのならず。

といへり

●共愛研究會 先頃吾妻郡折田村の有志者が組織せし共愛研究會そののち、其後加盟する會員の夥しく百事總べて整備せし由なるが同會則の概要を聞くに同會は農工商工藝學術等の智識と研究交換するを以て目的とし其の方法は討論談話實説及び

下附せらるゝ、なほんど云へり
●學事會議　森文部大臣、辻次官、渡邊
帝國大學總長其他分科大學長等は去る
十六日午後より文部省に於て學事上の會
議を開きたるよし
●地方衛生會　同會は豫記の如く昨
八日より縣會議事堂に於て開設せられ
藤知事自ら議長となり議事細則と議一

景況と内地に報じ以て橋渡の商況を助け
市價と公平ならむるの實効ヲ顯し且つ之を
海外機械者實際使用の便否と報じ日本生
絲改良の緒に就かめたり然るに今回總
然輸出の道斷絶セーは正金銀行に於て昨
年十一月以降輸出生絲に向て荷爲替金兩
組を削減し尙ほ本月に至り一時之ヲ謝絶

され一同散會せしは午後四時頃あり
議長加藤常置委員永田豫備員福島同
須の四氏より辭職することに決し副議長
長島橋氏の此説に同意せり常置委員渡邊
村の兩氏は不在よて未決の由に歸く
新井毫氏 同氏は一昨日所用と帶
來橋せられたるを幸ひ上毛青年會員諸

しより唯だ狼狽する外なかりしに早くも
停車場より局員數名、駈け付け戸を打破し
て乗客を救ひ出せしが幸ひよして重傷を
負ひし者なかりと斯くて此事の横濱市
中に傳播するや見物人は山の如く一時は
非常の混雑を極め五時六時の發車は爲め
に七時三十分比まで發車せざりしと又々

會館等を以てす○會員は何人と問はず同會の目的を養成するものに限る、但し會員として一ヶ月金二銭と納むべし○會日は毎月三回とす○同會に會長一名、副會長一名、幹事五名と會員中より互撰し一切の事務と取扱ひしむ○同會に利益あるものと認むる時特別會員とせしむべし

午散會一たるが本日より引續き鐵泉場
緒規則其他と審議する筈なりといふ
●青年に學實と給す 南勢多郡下田
新井左壽計氏は同地方の素封家なる
氏は感定る所あり將來有爲の望みある
年を選抜一十年の學實給與金一千五
圓の豫算にて凡そ十人を限り東京其他

したるに原因するものなれば此の報告に
 據する地方幾多の生産者は其驚愕實に耳
 するに及びや全國蠶絲業者は横濱以外に蠶
 絲を擲出すを得や爲めには皆な何處の苦
 境に陥り蠶絲業一線の命脈を斷絶するも
 のにて輕々傍觀すべき場合にあらざれば
 將牙本邦蠶絲業者を以て疑懼と抱かしめ

へには片原住吉屋へ同氏を招き茶菓の間
時事の談話を乞ひ初更過ぐる頃ろ解船
し同氏には目下府下神田錦町英語學
教師にして以前新聞に居住せられ一應
島縣人宇都宮平一氏と同行なりと
醫術六名の施術 前號へ記しました
町速達新聞の櫻持新井和吉十八飯塚村
くはへは

沖縣知事三橋書記官原田警察署長と始め
警部巡查數十名出張せしと云へり
よき事なり
藤岡婦人會 同會にてける廿四日
ひまわり
緑野郡藤岡町大戸夏太郎氏宅に其第廿四回
回と聞らき前橋英學校女教師村山雪子の
演説 通信女學の輪譚、毛糸編物、唱歌練
習等となし開會したるが當日の傍聴人の

て聘し演説と依頼することあるべし○同
會の休面と汚す行爲あるものは陰名すべ
し等の諸項なりといふ

紀州高野山金剛
總高野山回祇に罹る
峯寺は弘法大師の開山にして日本第一の
靈地巨刹として世に知られたる處なるに
去る二十四日南院に火ありて看るゝ四

留學せしむることに決したる由なるが故に
間幾多の守銭奴たち果して如何なる感想
を起す

●去月の中の屠牛數 本縣下に於て去月
中に屠殺したる牛は通計百十六頭なりし
といふ

法と立られたし云々との旨意なりーと
 是海外露用者の才に依り脚路擴張の方
 前（ちりて）の料理店石川佐兵衛方より昨廿八日の
 午前四時でろ出火と類焼二十七戸まで五
 時半に鎮火す

火事場で櫓子が折れ甚く腰を打ちしが
め大怪我をい昨日は醫師六名が立會に
療治されし由併し生命に係はる程の事
に有るまじと云ふ此の怪我の原因ハ一本
の櫓子へ一時多勢あがりし爲めなりと
云へば随分とも注意あれ

三十餘名もありしをぞ
 農籙集談會
 ては來月三日の神武天皇祭と申し馬見塚
 村延命寺に於て同地方最寄りの實業家及び
 大學理家と聘し第二回の農籙集談會と開
 く由あり

方に蔓延し火勢猛烈にして遂に六十ヶ寺
院と七十の民家を焼拂ひ其の地坪二十五
坪を焼土として賣什珍物も多くは池魚れ
災々躍り開山以來未曾有の大火なりと斯
る名勝たり靈地たる大伽藍として一朝烏
有に歸せしめたるは誠に惜むべし

急行ノ列車
(印)ハ上下
比上尾浦川
深谷新町へ
事

横川發 十時五十分 ○ 一時四十分 ○ 四時十五分
松井田發 八時十五分

磯部發
(上り)
二時十二分〇五時十七分
七時六分〇十時一分

安中發 六時五十二分〇九時四十七分
(下り) 十二時三十二分〇三時二十七分
飯塚發 九時〇十一時四十五分

上野發 四十分
二時三十分 ○ 五時三十五分